【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成22年10月14日(2010.10.14)

【公表番号】特表2002-543958(P2002-543958A)
【公表日】平成14年12月24日(2002.12.24)
【出願番号】特願2000-616899(P2000-616899)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　23/22　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　32/00　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　35/04　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　37/02　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　37/08　　(2006.01)
Ｃ０４Ｂ　41/85　　(2006.01)
Ｂ０１Ｄ　53/86　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　23/22　　Ａ
Ｂ０１Ｊ　32/00
Ｂ０１Ｊ　35/04　　３０１Ｐ
Ｂ０１Ｊ　37/02　　１０１Ｚ
Ｂ０１Ｊ　37/08
Ｃ０４Ｂ　41/85　　Ｄ
Ｂ０１Ｄ　53/36　　ＺＡＢＧ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成22年8月30日(2010.8.30)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２６】
例　１
上述のように硫酸バナジル／硫酸チタニル水溶液で含浸し、引続き２５０℃で乾燥し、貫流可能なハニカム体の形態の完成押出成形物として形成された、組成比８０％のＴｉO_2、６％のV_2O_5、８％のWO_3、６％の補助剤（重量％）の触媒に、モデル排ガスを５０００／時間の空間速度で１３０～２５０℃の種々の温度で通した。触媒は１５０×１５０mm^2の正方形の流動面積と１２２５本の並列の流通孔を持つ。モデルガスは空気中に２００ｐｐｍのペルクロルエテンを含有していた。即ち、ペルクロルエテンをダイオキシンのモデル物質として用いた。空気中の酸素の量は２０％であった。モデルガス内のペルクロルエテンの濃度を、触媒の前後で測定した。